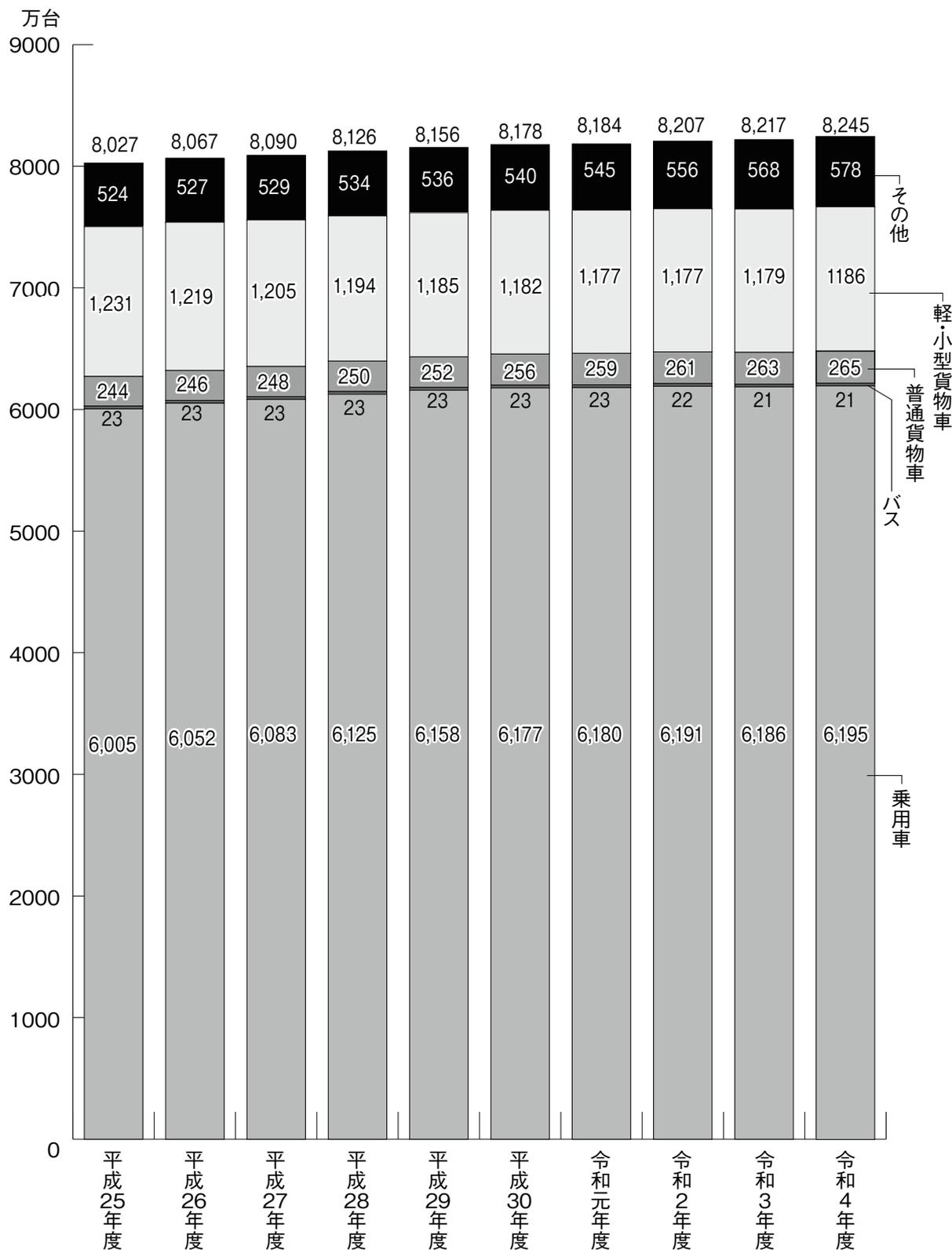


資 料 編

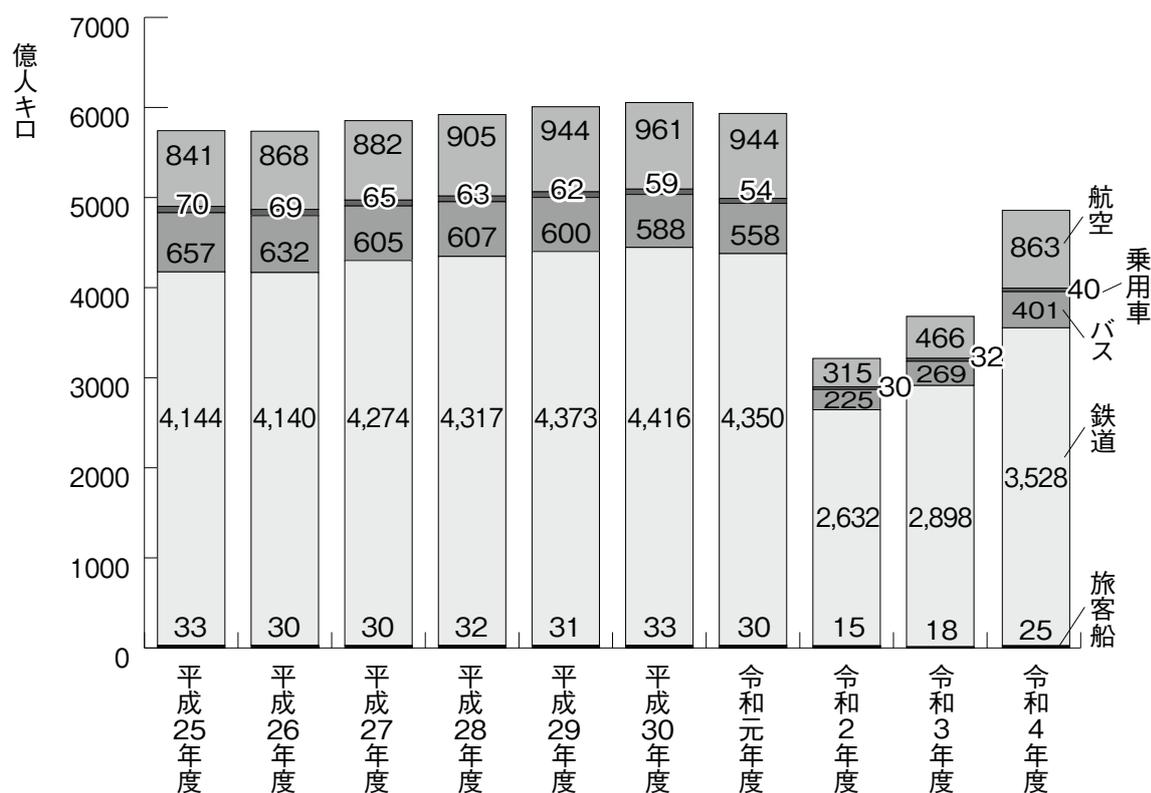
統計資料

1. 自動車交通需要の動向

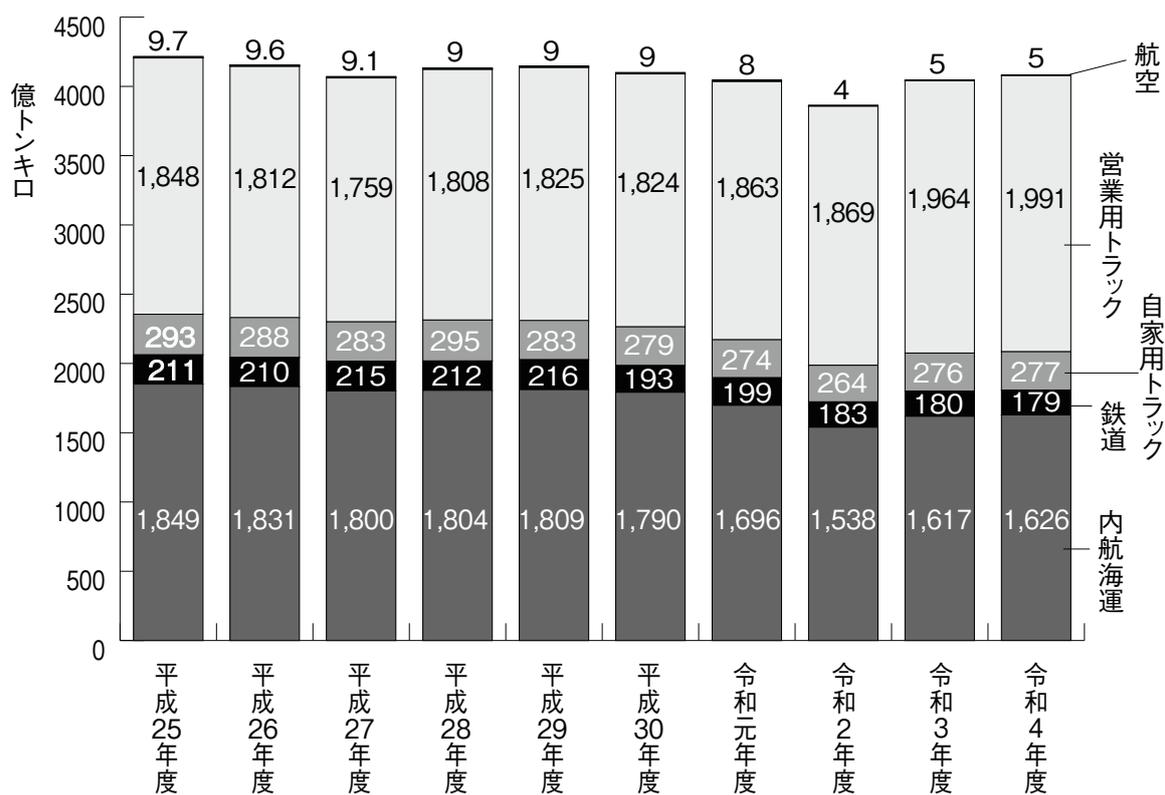
自動車保有台数の推移



旅客輸送量の推移



貨物輸送量の推移



2. 高速道路における車両故障発生状況の推移

年度 車種別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
	件数 構成比									
乗用車	65,979	65,760	65,461	66,339	70,030	68,185	52,172	50,264	60,163	65,660
	66.4%	66.7%	67.0%	66.0%	63.6%	63.5%	59.3%	58.5%	59.5%	60.1%
小型貨物	16,295	15,339	15,232	14,394	15,034	14,234	12,948	12,732	14,092	14,944
	16.4%	15.6%	15.6%	14.3%	13.6%	13.2%	14.7%	14.8%	13.9%	13.7%
普通貨物	13,063	13,266	12,962	15,437	20,509	20,638	19,518	19,561	22,637	24,045
	13.1%	13.5%	13.3%	15.4%	18.6%	19.2%	22.2%	22.8%	22.4%	22.0%
バス	734	794	685	702	922	800	334	433	442	783
	0.7%	0.8%	0.7%	0.7%	0.8%	0.7%	0.4%	0.5%	0.4%	0.7%
その他	3,364	3,389	3,370	3,572	3,682	3,581	2,949	2,957	3,709	3,871
	3.4%	3.4%	3.4%	3.6%	3.3%	3.3%	3.4%	3.4%	3.7%	3.5%
合計	99,435	98,548	97,710	100,444	110,177	107,438	87,921	85,947	101,043	109,303
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(各高速道路会社の資料から集計)

3. 高速道路における車種別車両故障発生状況

(令和5年)

内容別 車種別	オーバーヒート		始動点火系統 不良		タイヤ・ホイール 破損		燃料切れ		動力伝達装置 不良		燃料系統不良		雪道における滞留・ 事故(タイヤが原因)		その他		合 計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
乗用車	5,402	8.2%	10,382	15.8%	28,321	43.1%	5,931	9.0%	2,276	3.5%	1,151	1.8%	0	0.0%	12,197	18.6%	65,660	100.0%
		51.7%		66.7%		63.4%		69.0%		37.0%		44.3%		0.0%		57.3%		60.1%
小型貨物	1,470	9.8%	1,896	12.7%	6,571	44.0%	1,308	8.8%	820	5.5%	415	2.8%	0	0.0%	2,464	16.5%	14,944	100.0%
		14.1%		12.2%		14.7%		15.2%		13.3%		16.0%		0.0%		11.6%		13.7%
普通貨物	3,257	13.5%	2,308	9.6%	8,973	37.3%	661	2.7%	2,672	11.1%	805	3.3%	6	0.0%	5,363	22.3%	24,045	100.0%
		31.2%		14.8%		20.1%		7.7%		43.4%		31.0%		100.0%		25.2%		22.0%
バス	134	17.1%	102	13.0%	280	35.8%	36	4.6%	54	6.9%	20	2.6%	0	0.0%	157	20.1%	783	100.0%
		1.3%		0.7%		0.6%		0.4%		0.9%		0.8%		0.0%		0.7%		0.7%
その他	184	4.8%	870	22.5%	508	13.1%	662	17.1%	329	8.5%	208	5.4%	0	0.0%	1,110	28.7%	3,871	100.0%
		1.8%		5.6%		1.1%		7.7%		5.3%		8.0%		0.0%		5.2%		3.5%
合計	10,447	9.6%	15,558	14.2%	44,653	40.9%	8,598	7.9%	6,151	5.6%	2,599	2.4%	6	0.0%	21,291	19.5%	109,303	100.0%
		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

注1：構成比の上段は当該車種の内容別構成比、下段は内容別の車種別構成比をそれぞれ示す。

【習得度テスト解答と解説】

＜共通問題＞		
1	(×)	半年間保存しなければならない。⇒ 1年間保存しなければならない。
2	(○)	
3	(○)	
4	(×)	12ヶ月毎 ⇒ 3ヶ月毎
5	(○)	

＜部門問題＞		
(トラックの整備に関する問題)		
1	(×)	バス、ハイタクに次いで3番目 ⇒ バスに次いで2番目
2	(○)	
3	(○)	
4	(×)	過去5年以内に同事故が発生していた場合 ⇒ 過去3年以内に同事故が発生していた場合
5	(○)	

【習得度テスト解答と解説】

＜部門問題＞		
(バスの整備に関する問題)		
1	(○)	P119 参照：設問のとおり
2	(×)	P133, P203 参照：圧縮水素等を燃料とする FC バス等については、道路運送車両法と高圧ガス保安法の 2 つの法令による規制が適用されていたが、令和 5 年 12 月 21 日の改正で規制が一元化されたのは道路運送車両法である。
3	(×)	P133, P203 参照：FC バスのガス容器について、容器再試験は初度登録から 1 年目の車検整備時に受検しなければ車検合格とならず、その後一般的には 2 年毎になる。
4	(×)	P7 参照：令和 5 年路上故障での道路別・装置別故障発生件数及び割合では、一般道路では電気装置故障が一番多いが、高速道路では走行装置故障が一番多くなっている。
5	(○)	P210 参照：「有効期間満了日の 2 か月前から満了日までの間」に受検しても、残存する有効期間は失われない。(令和 7 年 4 月 1 日施行) ※注意：自賠責保険の有効期間もこれに整合させる必要あり。

＜部門問題＞		
(ハイ・タクの整備に関する問題)		
1	(○)	図-1 高速道路における車両故障発生件数の推移表で、乗用車が 65,660 件で一番多いです。
2	(○)	車両故障は突然発生する場合がありますので、慌てずにハザードランプを点滅させながら、車両を安全な路肩等に寄せて停車後、旅客を安全な場所に誘導し、二次災害防止への対応をしてください。
3	(○)	レーザーセンサーや音波センサーのついた外装類の脱着、カメラのついたフロントガラスの交換、フレーム修正をした時の先進安全装置を正しく作動させる作業です。
4	(×)	日常点検において、点検実施者は、微細な異常でも整備管理者へ報告し、整備管理者は修理などの必要な措置を講じ、運行可能の決定をします。
5	(○)	健康は宝と言うように、日頃より健康意識を高めながら行動するとともに、健康診断後の産業医からの意見聴取により、必要に応じて再検査等を受診します。上司等と診断結果に基づく継続治療の確認、処方箋の確認等をして継続的なコミュニケーション作りを実施してください。